

# 小口太郎の思い後世に

## 「琵琶湖周航の歌」歌う催し9月15日



小口太郎没後100年の節目に合わせ「琵琶湖周航の歌」などをみんなで歌うイベントを企画した藤田さん

小口太郎の思いを後世につなごう。諏訪市上諏訪の藤田ますさんが9月15日、岡谷市湊出身の小口太郎（1897～1924年）が作詞した「琵琶湖周航の歌」を歌うイベントを岡谷市の諏訪湖畔に建つ顕彰碑前で開く。太郎の没後100年の節目に合わせて計画した。自らが作詞した「諏訪湖の詩」も琵琶湖周航の歌の曲に乗せて合唱する。「みんなで一緒に歌いませんか」と参加者を募っている。（小尾口有二）

## 藤田さん（諏訪）企画「感謝を込めて」

藤田さんによると、子育てや家族の介護などを経て、現在は「第三の人生」として社会貢献活動に力を入れている。湖畔を歩いて健康づくりをしたり、おしゃべりで湖の話をして親しくなったりと、諏訪湖は「人生で切り離せない存在」。そんな湖を中心テーマに据えて作ったのが「諏訪湖の詩」だ。

詩は2021年から2年ほどかけて作り、1番から60番まである。「赤岳の峰に、我の人生 縄文の里と、木落しと 流れ流れて、諏訪の湖 皆で集う広場は、キラメキが」。ふと思いつかんたつぶやきをつづつてきた。

当日は午前11時30分すぎから顕彰碑前で行う予定。おことや音楽協会が同日に諏訪湖ハイツで開く「歌いつごう！日本のうた」の終了後の時間に合わせに行い、同協会メンバーにも参加を呼び掛けるという。諏訪湖の詩は一部を歌う計画だ。

藤田さんは「歌は人の心をほぐす力があると感じる。（小口太郎に）感謝を込めて歌いたい」と話している。

飲み物持参での参加を呼び掛けている。問い合わせは藤田さん（電話 090・8646・3584）へ。